



向陽中だより



本校生徒会キャラクター
「ひま SUN」

令和 7 年度第 3 号
令和 7 年 5 月 1 日
杉並区立向陽中学校
校長 高津 憲

<教育目標> ◎ よく考える人 ○ 思いやりのある人 ○ たくましい人

全員でつくりあげる運動会

運動会実行委員会委員長 川邊 慎二

4月の終わりから体育授業の中で運動会に向けて動き始め、校庭に生徒たちの元気の良い声が飛び交うようになりました。気持ちの入った声は、見ている側の心に清々しさを与えてくれます。

運動会という行事は、みんなが一緒に行くことで、相手の気持ちを考え、お互いに心を通わせ、ともに成長できる行事です。一人一人が主役になる個人種目では、誰もが緊張感をもって臨みます。みんなと一緒に取り組む学年種目では、運動が苦手な人も得意な人も一緒になって、互いを思いやり、それぞれの持っている力で支え合いながら取り組みます。同じ体験をしているからこそ、仲間の気持ちを理解して、心に届く応援ができます。苦楽を共にするからこそ、お互いの頑張りや成長を認め、たくましくなっていくのです。

運動会は、本校の教育目標である「よく考える人」「思いやりのある人」「たくましい人」を体現する大きな行事の一つです。今度の運動会では、その中でも「思いやり」を育ててほしいと願っています。実行委員は大きな声をかけ、一生懸命、学級を、学年をまとめようと頑張っています。その声や姿勢に、みなさんはどう応えますか。運動が苦手な人やケガをしている人に、どのような声をかけますか。係の仕事で判定ミスをしてしまった人に、どのように接しますか。上手くいかないときに、ちょっときつい言葉を言いたくなることもあると思います。でも、「自分が逆の立場だったら」と想像したときに、相手の気持ちが分かるのではないのでしょうか。練習から本番に至るまでに、「相手の気持ちを想像する」場面が、散りばめられていると思います。その都度、想像してみてください。きっとお互いにとって、運動会の後も気持ちよく過ごせる環境や人間関係が築けるはずですよ。

勝負事にはどうしても勝敗がつきます。結果として報われることも、そうでないこともあります。また、本番でアクシデントやハプニング、判定ミスなどもあるかもしれません。ですが、それも一生懸命取り組んだ結果です。誰も責められません。そうしたことのすべてを含めて、気持ちよく終われることを切に願っています。そして、運動会が終わった時に、「みんなで取り組めてよかった」と思えるように指導していきたいと考えています。

最後になりますが、保護者や地域の方々には、一人一人の生徒が競技でも係でも応援でも、一生懸命取り組んでいる目を見ていただけたらと思います。普段見せないような表情が、そこにはあると思います。どの顔もいい顔であるはずですよ。ラジオ体操や行進などは、得点にはなりません。でも、そこでも手を抜かず一生懸命取り組む生徒を、温かい目で見守ってください。

清々しく終わるには、生徒の頑張りはもちろん、教職員、保護者、そして地域の方々の協力が不可欠です。練習期間中、当日とご迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2025年運動会スローガン

青瞬～胸に焼きつく一瞬の激闘～